歌浦っ子だより（学校だより）

「やさしい心　夢かがやく　歌小の子どもの育成」

平成31年　3月11日　　文責：校長　内野義和

たぬき絵作家の堤けんじ先生来校

２月２６日（火）午後、たぬき絵作家の堤けんじ先生が６年生の絵の指導に本校へ来てくださいました。堤けんじ先生はみなさんもご存知のように、たぬきをモチーフに県内の風物詩を描かれています。長崎くんちの絵など有名です。どうしてこのような有名な方が本校へ絵の指導に来られたかと言いますと、主任民生児童委員の桃野さんのおかげです。先日の「かがやき広場」における６年生発表のゲストティーチャーとして桃野さんに来ていただき、ふるさと鹿町・歌浦のことを教えていただきました。その際に、堤先生と旧知で６年生への絵の指導を頼んでみますよとおっしゃっていただきました。ふるさとを題材にしてたぬき絵を描けば、子どもにとって卒業前のよい思い出になるということと、ふるさとへの思いも強くなるだろうということで、お世話していただくことになった次第です。

長串山のつつじの風景、長串山から見る北九十九島の風景、夕日が沈む風景、教会の風景、桜が咲く学校の風景などに、描き方を教わったたぬきを描いたり、先生自らにたぬきを描いていただいたりしました。先生からは構図や、子どもオリジナルのたぬきを褒めていただきました。６年生はとてもよい思い出になったと思います。

堤先生、ありがとうございました。またお世話いただいた桃野さんをはじめ、当日わざわざお越しいただきました、鹿町地区自治協議会長の山之内さん、鹿町町内会長連合会長の川尻さん、桃野さんの息子さん、誠にありがとうございました。

お別れ集会

２月２８日（木）の２校時・３校時に６年生とのお別れ集会がありました。感謝し合うことを話したあと、６年生の成長を私は褒めました。学校のリーダーとしてよくがんばりました。１年生のお世話もよくできました。朝のボランティア掃除も最近では楽しく行っています。先日の「かがやき広場」（ミニ学習発表会）ではふるさとについて学んだことを堂々と発表しました。ふるさとを大切にしたい思いが伝わってきました。すばらしい６年生になりました。

お別れ会は、４年生がお世話した「猛獣狩りに行こうよ」のゲームで楽しく交流したあと、各学年の出し物がありました。それぞれの学年が趣向を凝らし、６年生へ感謝の気持ちを伝えていました。特に１年生の出し物では、６年生１人１人に１年生が感謝の気持ちを伝え、最後は１年生が６年生から抱っこされるシーンもありました。お互いに笑顔でいる姿を見て、この１年の両者の結びつきを感じ、私は思わず涙ぐんでしまいました。５年生のよさこい披露の際には、６年生も参加して一緒に踊っていました。６年生からは各先生方や各学年への感謝の言葉がありました。

各学年の出し物のあとは、校旗継承式がありました。運営委員会の６年生が校旗に込められた思いを伝えたあと、５年生の代表が校旗を受け取りました。いよいよ４月からは５年生がリーダーです。５年生もその思いを強くしたことと思います。

最後に「はじめの一歩」を全校で合唱し、お別れ集会は終わりました。運営委員会の子どもは計画・司会・運営を担当しました。立派に役目を果たしました。６年生、下級生ともに感謝し合うことが伝わってきたすばらしいお別れ集会でした。